



早期発見！膀胱がん

臨床検査科 臨床検査技士 神山 直人

「膀胱がん」は泌尿器科のがんとしては前立腺がん
に次いで多く、日本全国で年間約2万人が診断されて
います。60代以降の高齢者に多く、特に男性の発症
率は女性の3～4倍にもなります。また、たばこは膀
胱がん発症のリスク要因にもあげられ、喫煙者は非喫
煙者の2～4倍の発症率とされています。その他、
染料や化学物質への慢性的な接触もリスク要因となる
ため、ゴム・革・プラスチック・織物などを扱う職業
従事者は発症との関わりが指摘されています。

膀胱がんのもっとも一般的な初期症状に「血尿」が
あります。がんができた場所から出血することにより、
赤色や茶色の尿が認められ、進行すると次第に排尿時
痛や残尿感、頻尿といった症状を自覚するようになります。
ただし、初期の血尿では痛みや違和感などを伴
わないケースが多く、軽度の血尿は肉眼では赤く見え
ないこともあるため、見過ごされてしまう可能性もあ
ります。

そこで、血尿や膀胱がんの早期発見の手がかりとな
りうるのが、健康診断での尿検査です。尿検査には、「尿
潜血」という項目があります。この項目は血尿の有無
を判定するものです。もし無自覚のうちに膀胱がんを
発症していたとしても、そこから出血があれば尿潜血
が陽性となるため、この尿検査をきっかけにがんに気
付くことができるかもしれないのです。

しかし、尿潜血が陽性であれば必ず膀胱がんと決ま
るわけではなく、血尿は、膀胱炎や尿路結石などほか
の疾患にもみられるため、しっかりと区別する必要が
あります。膀胱がんの主な検査には、顕微鏡を用いて
尿中のがん細胞の有無を調べる「尿細胞診」や、尿道
から膀胱内へカメラを挿入してがんを探す「膀胱鏡検
査」があり、必要に応じて「超音波（エコー）検査」、「CT
検査」、「MRI検査」などで転移の可能性も含めて詳し
く調べます。確定診断にあたっては、「TUR-BT（経
尿道的膀胱腫瘍切除術）」と呼ばれる手術を行い、切
除した腫瘍を顕微鏡で観察してがんの悪性度を判定す
ることになります。

膀胱がんは非常に再発しやすく、再発率は50～
60%に上ると言われています。一度手術した後も、定
期的な経過観察や、膀胱内への抗がん剤またはBCG
（ウシ型弱毒結核菌）注入などの治療が必要です。一
方で他の臓器やリンパ節に転移することはさほど多く
はなく、早期発見ができれば生命に関わるほどの重篤
ながんにはなりにくいと考えられています。他のがん
にも言えることですが、早期発見が何より重要です。

「高齢」「男性」「喫煙者」など膀胱がん発症のリス
ク要因に該当する方で、健診で血尿を指摘されたり、
排尿に関して気になる症状のある方は、ぜひ当院で尿
検査を受けてみてはいかがでしょうか。

9月の救急医療機関

	外科休日当番医 (8:30～翌8:30)	歯科休日当番医 (9:00～12:00)	電話番号	住所
6日(日)	滝川脳神経外科	北竜町立歯科診療所	0164-34-2656	北竜町字和2-17
13日(日)	市立病院	Eデンタルクリニック	0125-24-9469	滝川市緑町1丁目5-23
20日(日)	市立病院	小西歯科医院	0124-23-0102	芦別市北2条西1丁目6-5
21日(月)	滝川脳神経外科	松原歯科医院	0125-52-6480	砂川市吉野1条南4丁目7-17
22日(火)	市立病院	たなか歯科医院	0164-23-5545	深川市開西町2丁目1-25
27日(日)	市立病院	スマイル歯科	0125-74-5028	滝川市本町2丁目4-25

※市立病院…Tel 22-4311/ 大町2丁目2-34 滝川脳神経外科…Tel 22-0250/ 西町1丁目2-5

休日の内科・小児科の診療は市立病院で受け付けます(8:30～翌8:30)。

平日の時間外診療の協力医療機関については当番病院案内ダイヤル(Tel 22-2299)でお知らせします。